

総論

- 1 後期基本計画策定にあたって
- 2 南魚沼市の将来像
- 3 政策の大綱・施策の体系
- 4 市民の声（アンケート調査から）

1

後期基本計画策定にあたって

計画策定の目的

平成 18 年（2006 年）3 月、わたしたちのまち南魚沼市の、まちづくりの長期的な方向を示す基本となる「第 1 次南魚沼市総合計画」を策定しました。この計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の 3 つで構成されます。この中の「基本計画」では、平成 22 年度（2010 年度）までの 5 年間で前期計画期間として、具体的な施策や事業を体系的に示しました。そして、これに基づき総合的かつ効果的にまちづくりを推進してきました。しかし、その間、少子高齢化の進展、地方分権の推進、社会経済情勢の急激な変化など、本市をとりまく状況は予想を上回る速度で大きく変化しました。そのようなことを背景に、より迅速かつ柔軟に、「基本計画」を見直すことが必要となりました。

そこで、この「基本計画」の前期計画期間を 1 年間前倒して、平成 22 年度（2010 年度）から平成 27 年度（2015 年度）までの 6 年間で計画期間とする「後期基本計画」を策定することとしました。

計画の構成と期間

南魚沼市総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の 3 つで構成されます。それぞれの概要と計画の期間は以下のとおりです。

10 基本構想

まちづくりの推進にあたって市民・企業・行政が共有する基本理念や将来像、目標を明らかにするとともに、その実現を図るための政策の大綱を示します。

計画期間は平成 18 年度（2006 年度）から平成 27 年度（2015 年度）までの 10 年間です。

4.6 基本計画

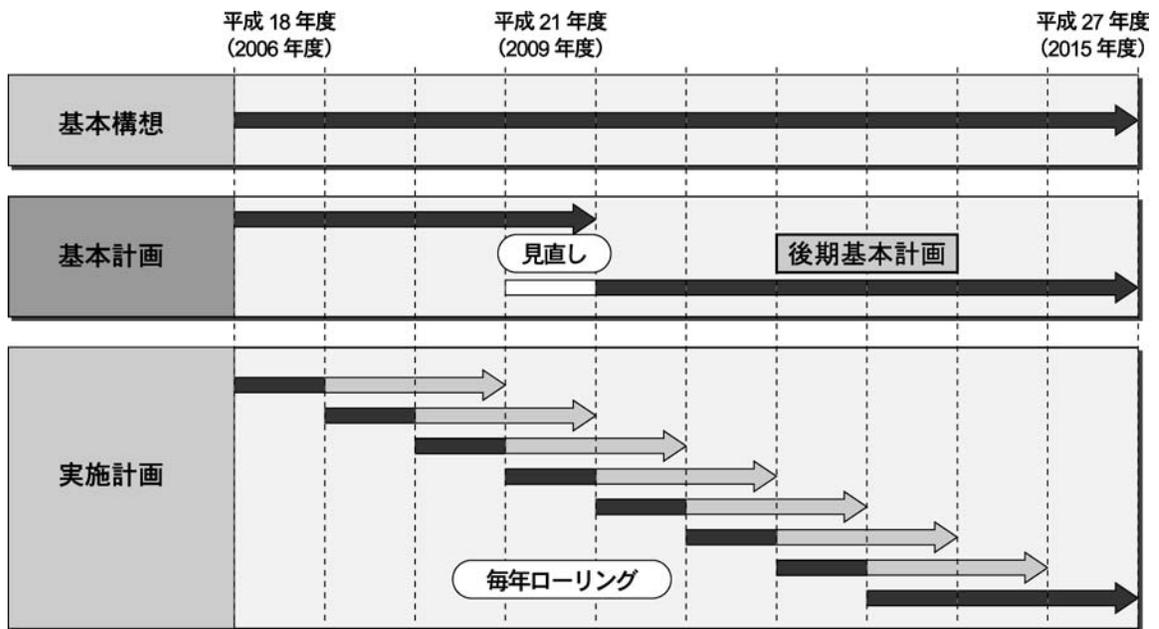
基本構想で示された政策の大綱ごとに施策とその方針を示し、それに従って展開する主要な事業を掲げます。

計画期間は平成 18 年度（2006 年度）から平成 27 年度（2015 年度）までの 10 年間で、およそ中間年となる平成 21 年度（2010 年度）に見直しを行います。

3 実施計画

基本計画で掲げた施策や主要な事業に基づき、具体的な事業を効果的に推進するための事業計画を定め、毎年度の予算編成の指針とします。

計画期間は向こう 3 ヶ年として、毎年度見直しを行うローリング方式とし、別途公表します。



基本構想・基本計画・実施計画の計画期間

2

南魚沼市の将来像

南魚沼市の将来像

南魚沼市には、豊かな自然や文化、伝統など、先人から受け継いだ貴重な財産とともに、まちを支える多様な人材、地域特性を活かしたさまざまな産業があります。

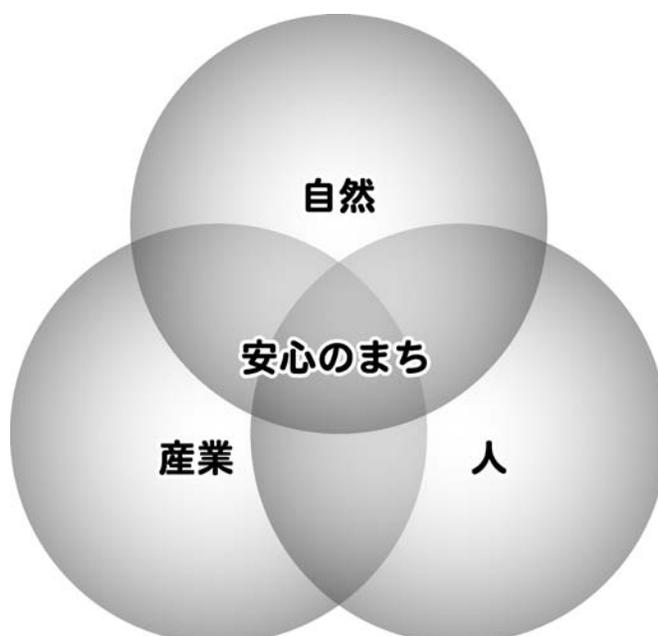
また、南魚沼市の可能性を高め、自立したまちをつくるためには、行政だけでなく、市民一人ひとりがまちの将来に対して自覚と責任をもち、ともに知恵を出し合いながら行動することが必要です。

いわば、南魚沼市を象徴する雪、清流にイメージされる白いキャンバスに、自然・人・産業の連鎖と融和によって、明日をえがくことが求められているといえます。

そこで、基本構想では、市民の誰もが安心していきいきと暮らせるまちづくりを目指し、南魚沼市の将来像を『自然・人・産業の和で築く 安心のまち』としています。

将来像

自然・人・産業の和で築く 安心のまち



将来像実現のための基本理念

前期基本計画では、基本構想に掲げた南魚沼市の将来像の実現に向けて、4つの柱を基本理念として掲げました。

後期基本計画においても、この将来像や基本理念を引き続き掲げ、その実現に取り組みます。

基本理念①	郷土を愛し、一人ひとりがつくるまち
-------	-------------------

豊かな自然や文化、伝統に満ちた郷土を愛する市民を育て、市民一人ひとりが主体となって、活力ある自立したまちを目指します。

将来にわたって発展するまちであり続けるために、まちに新風を吹き込む人材の育成を図ります。

基本理念②	人の輪で支えあう安心のまち
-------	---------------

身近な地域から、都市間の連携まで、活気ある交流を進めることによって、人と人が支えあう、安心と思いやりのあるまちを目指します。

子どもから高齢者まで安心していきいきと暮らし続けるために、保健・医療・福祉の充実と、生涯にわたって学べる教育環境の整備を図ります。

基本理念③	南魚沼を活かす力強い産業が育つまち
-------	-------------------

将来にわたってまちを支え、活力をもたらす力強い産業が育ち、生れるまちを目指します。

たくさんの地域資源を基に、豊富な人材と活力で多様な業種を結びつけ、地域に根づいた力強い産業を育てます。また、情報のネットワークを活用し、地域情報の積極的な発信を行うとともに、地域の特性を活かした地域ブランドの創造と販売経路の拡充を図ります。

基本理念④	効率的で活力に満ちた行政システムをもつまち
-------	-----------------------

市民と行政の協働、民間活力の導入をより積極的に進め、市民生活に密着した公正で無駄のない行政サービスをこれまで以上に目指します。

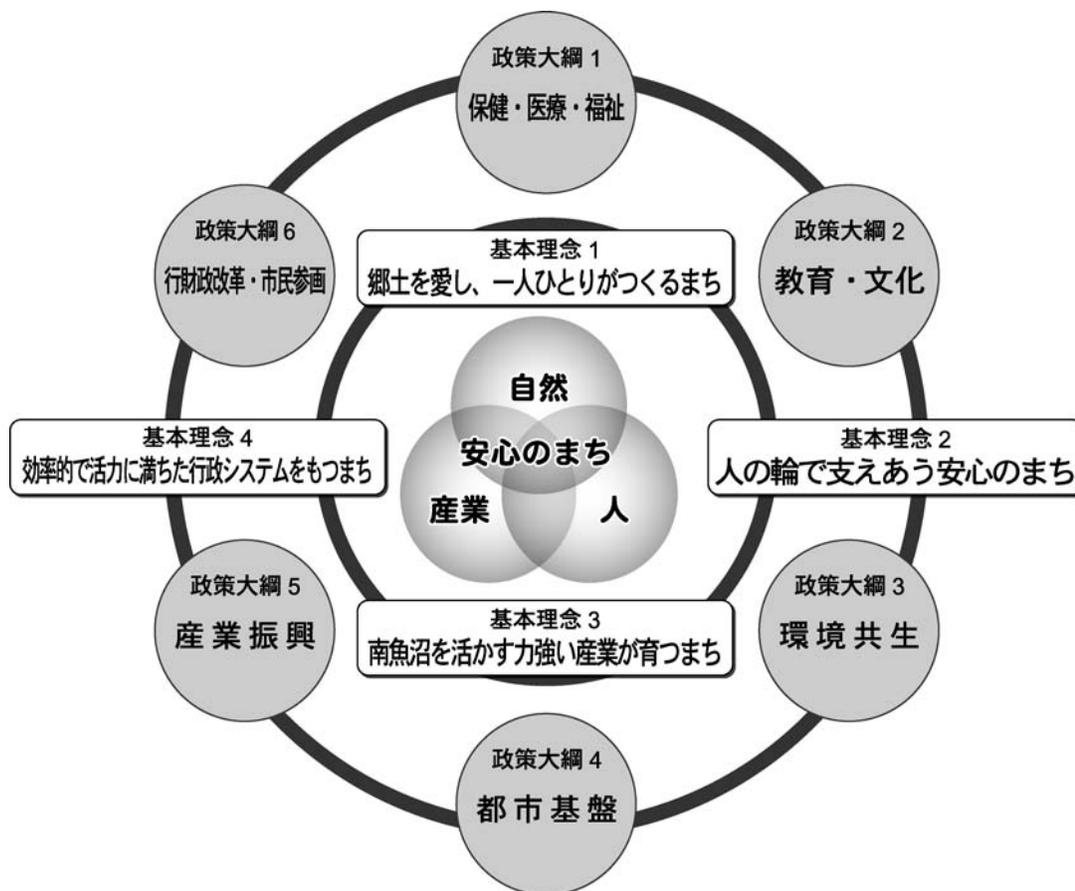
市民の声を行政に反映させる仕組みづくりと民間活力の積極的な導入を進め、市民主体のまちづくりの推進を図ります。

3

政策の大綱・施策の体系

政策の大綱

基本構想では、南魚沼市の将来像「自然・人・産業の和で築く 安心のまち」を実現するために、4つの基本理念により、まちづくりの枠組みを6分野の政策大綱（分野別政策）に整理しています。6分野の政策大綱では、それぞれに「まちづくりの目標」を定めています。これらは独立したものではなく、相互に関連しながら取り組みを進めます。



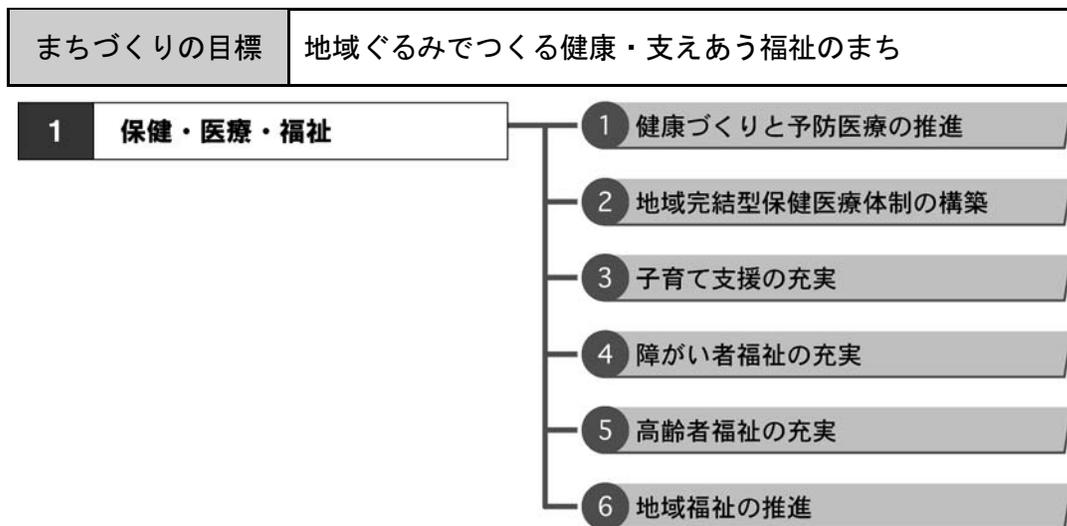
将来像・基本理念と政策大綱のイメージ

施策の体系

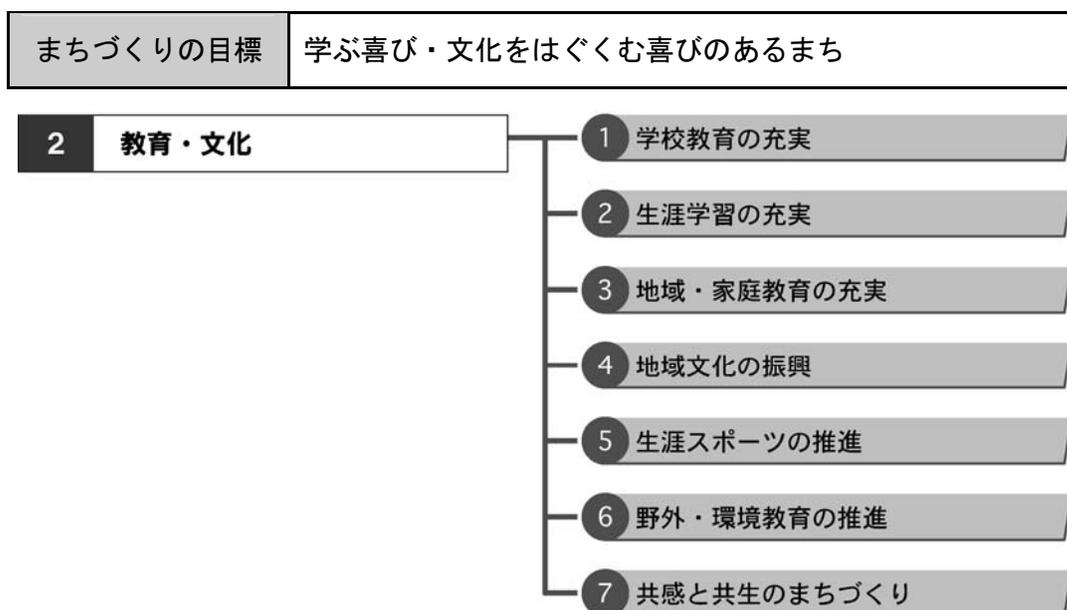
後期基本計画では、6分野それぞれの政策大綱に定めた「まちづくりの目標」を達成するために設定した33の基本施策を引き継ぐこととします。その中で、その現状と課題、取り組むべき基本方針、各施策を達成するための方策である具体的施策や主要な事業の見直しを行いました。

6分野の政策大綱、まちづくりの目標、基本施策の体系は以下のとおりです。

1 保健・医療・福祉

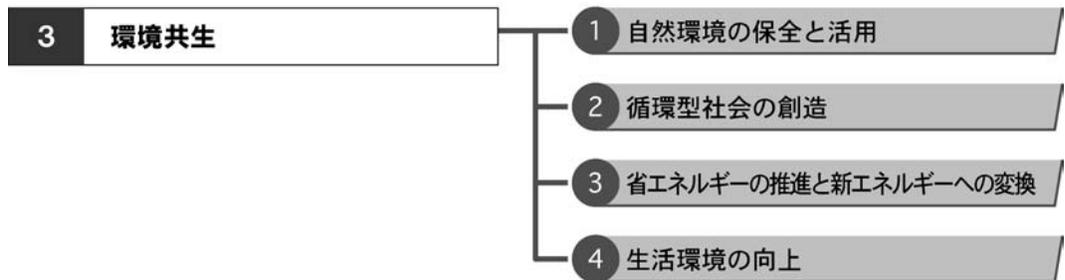


2 教育・文化



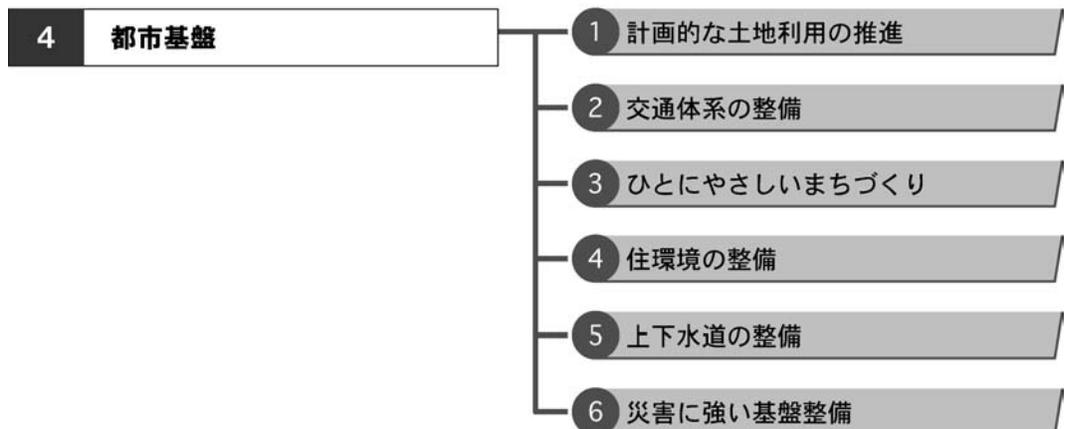
3 環境共生

まちづくりの目標	豊かな自然とともに生き、 100年後の子どもたちに引き継いでいくまち
----------	---------------------------------------

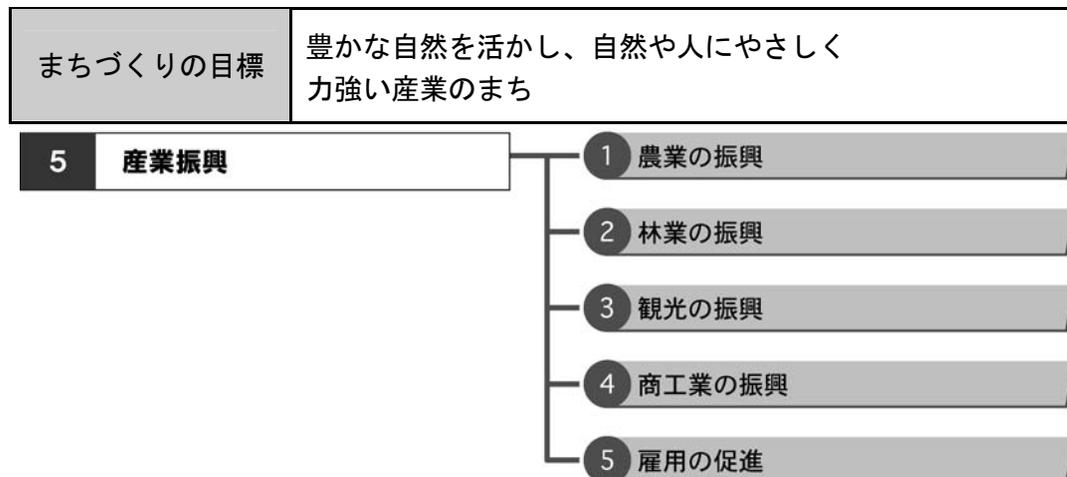


4 都市基盤

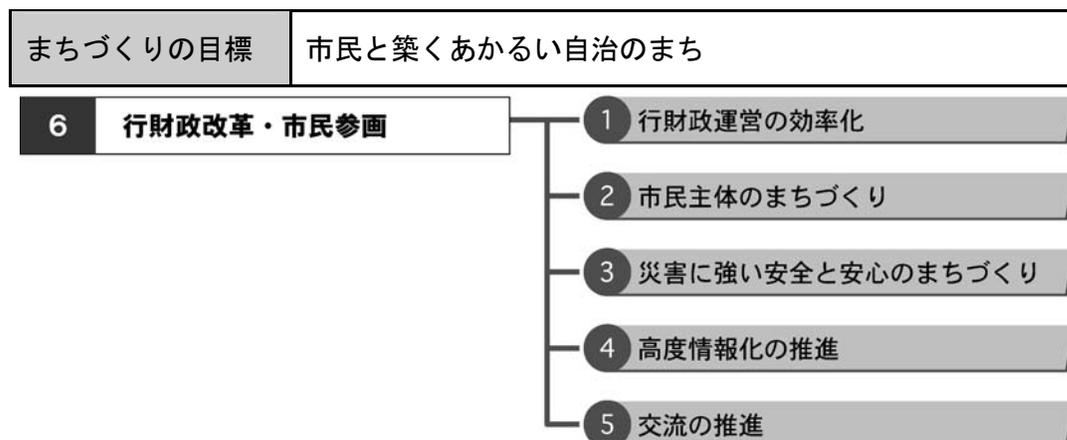
まちづくりの目標	安全・快適でうるおいのある生活ができるまち
----------	-----------------------



5 産業振興



6 行財政改革・市民参画



施策の達成目標・指標

後期基本計画では、計画を着実に推進するため、33の施策それぞれについて、客観的数値または将来的に達成度が評価できる具体的目標による指標（目安）とその達成目標年度を示しました。

4

市民の声（アンケート調査から）

調査の概要

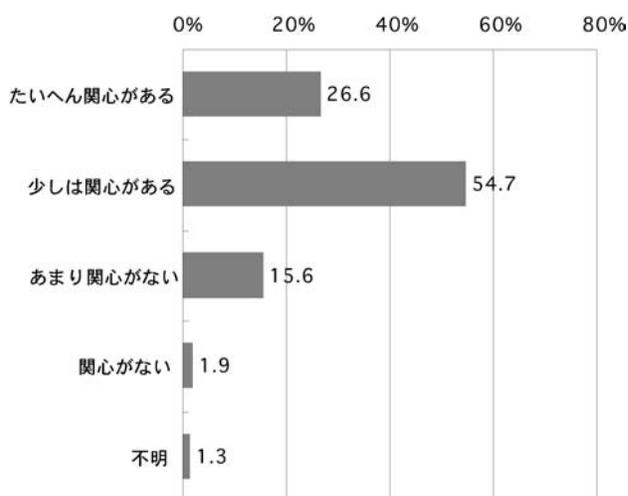
後期基本計画の策定にあたり、これまでの南魚沼市のまちづくりの点検・見直しを行うとともに、今後の目指すべき方向性や市民のニーズを把握するため、「南魚沼市『市民の声』アンケート調査」を実施しました。調査結果は、33の施策それぞれの「施策の達成目標・指標」などに反映しました。

調査名称	南魚沼市「市民の声」アンケート調査
調査対象	20歳以上の男女2,000人（住民基本台帳から無作為抽出）
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	平成21年5月19日～6月1日
有効回答数	2,009人（有効回答率50.5%）

市政への関心

◆ 8割以上が「関心がある」

「あなたは市政に関心がありますか」とお聞きしたところ、「少しは関心がある」（54.7%）の値が最も高く、次いで「たいへん関心がある」（26.6%）が高くなりました。



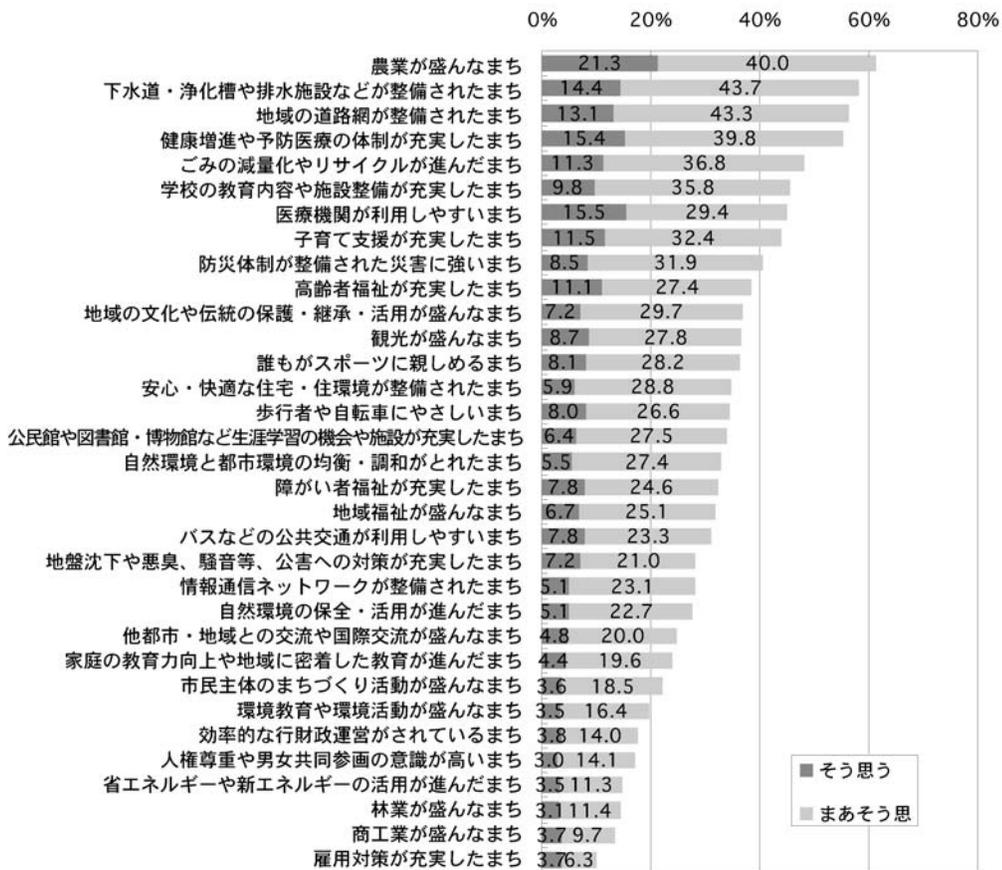
まちづくりの現状評価

- ◆ 評価が最も高いのは「農業が盛んなまち」
- ◆ 「下水道・浄化槽・排水施設」「地域の道路網」「健康増進や予防医療」の3項目も比較的评价が高い

「あなたはそれぞれのまちづくりの取り組みが進められていると思いますか」とお聞きしたところ、「そう思う」は「農業が盛んなまち」(21.3%)が最も高く、33項目中で唯一2割以上を占めました。

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせると、「農業が盛んなまち」(61.3%)が6割以上、「下水道・浄化槽や排水設備などが整備されたまち」(58.1%)、「地域の道路網が整備されたまち」(56.4%)、「健康増進や予防医療の体制が充実したまち」(55.2%)の3項目も5割以上となりました。

一方、「雇用対策が充実したまち」は値が最も低くなりました。



今後取り組むべきこと

- ◆ 値が最も高いのは「医療機関が利用しやすいまち」
- ◆ 「雇用対策」「高齢者福祉」「子育て支援」の3項目も比較的値が高い

「今後、特に南魚沼市が力を入れて取り組むべきことはどれですか（5つまで選択）」とお聞きしたところ、「医療機関が利用しやすいまち」（44.2%）が最も高く、33項目中で唯一4割以上となりました。

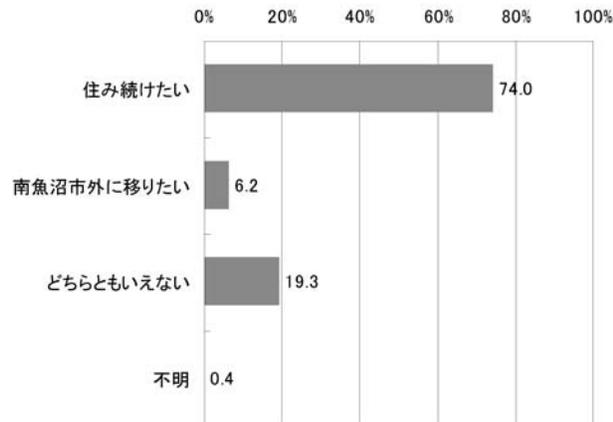
「雇用対策が充実したまち」（36.5%）、「高齢者福祉が充実したまち」（35.0%）、「子育て支援が充実したまち」（27.6%）の3項目も3割程度からそれ以上の比較的高い値となりました。



定住意識

◆ 7割以上が「住み続けたい」

「あなたは今後も南魚沼市に住み続けたいと思いますか」とお聞きしたところ、「住み続けたい」（74.0%）が7割以上を占めました。



住民サービス

- ◆ 評価が比較的高いのは「窓口や電話の対応」「必要な書類の入手」
- ◆ 評価が比較的低いのは「市民の意見や考えが伝わりやすい」

「あなたは南魚沼市の住民サービスをどう思いますか」とお聞きしたところ、「窓口や電話での対応などが親切である」「必要な書類などがすぐ入手できる」の2項目で、「そう思う」「まあそう思う」が比較的高い値となりました。

一方、「あまりそうは思わない」「そうは思わない」は「市民の意見や考えが伝わりやすい」が比較的高い値となりました。

